

議 会 だ よ り

おおやまざき



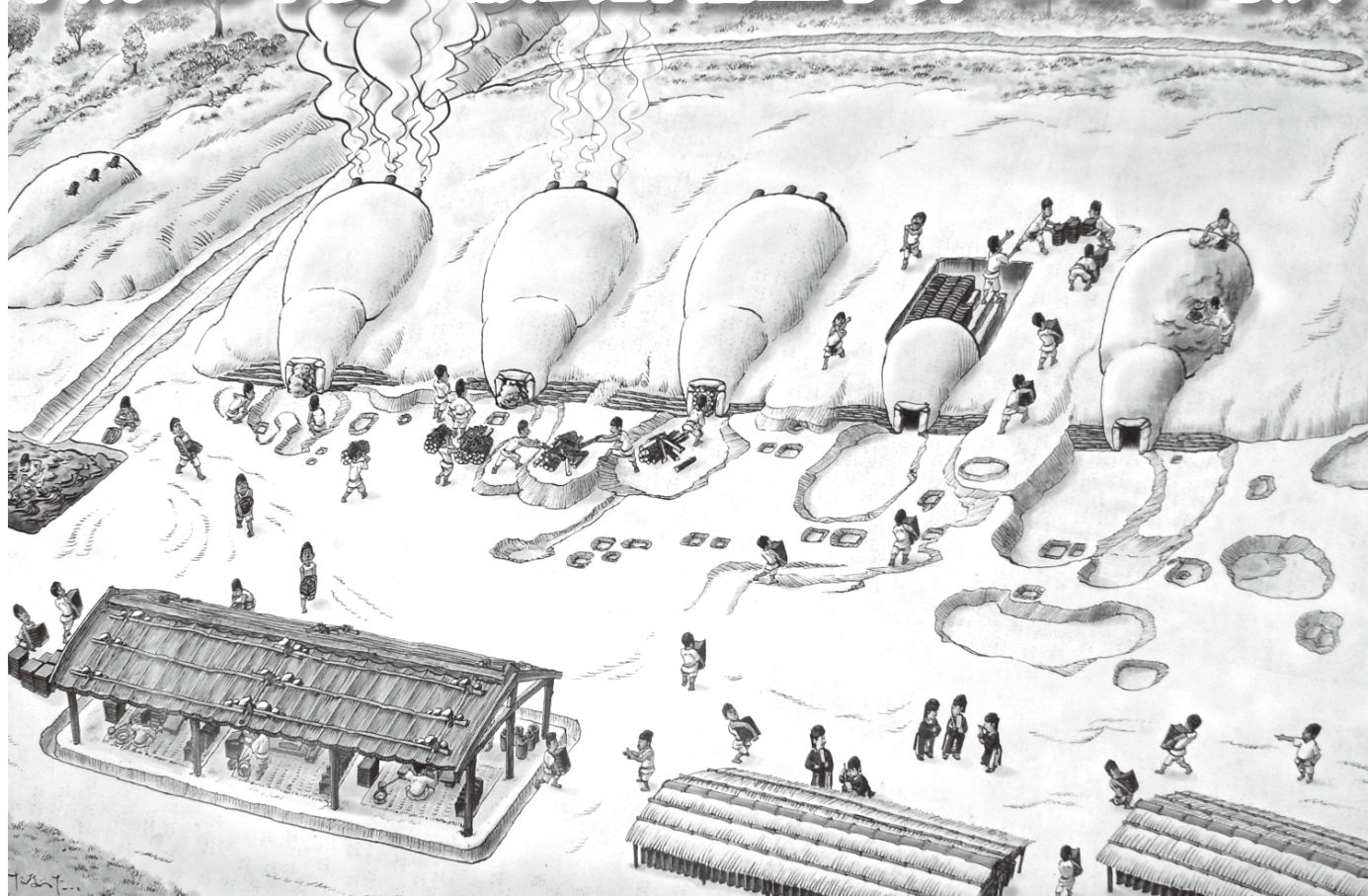
第 77 号

発行

平成28年9月1日

平成 28 年第 2 回定例会（6 月議会）

平成28年度一般会計補正予算などを可決



表紙の写真

史跡大山崎瓦窯跡

史跡大山崎瓦窯跡は、平安遷都(794年)直後に成立した瓦の生産地です。主に平安京、京外の諸寺のほか、嵯峨院や山崎に所在した河陽離宮など嵯峨朝の離宮の瓦を生産しています。

平成16年に実施した調査において、6基の瓦窯が検出され、国の史跡に指定されました。また、その後の調査において4基の瓦窯が検出され、大規模な瓦生産地であったことが判明しています。

(5ページに関連記事を掲載)

主な内容

平成28年第2回定例会

一般質問要旨	2 ~ 4	特集など	7
こんなことが決まりました	5	議会のうごき等	8
審議結果	6		

町政を問う

一般

質問

第2回定例会(6月議会)では、5人の議員が一般質問に立ち、当面する本町の課題について、考えをいただきました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

一部要旨

辻 真理子議員……P 2

- 子育て応援のまちづくりについて
- 防災について

山中 一成議員……P 3

- 安心・安全なまちづくりについて

波多野庇砂議員……P 3

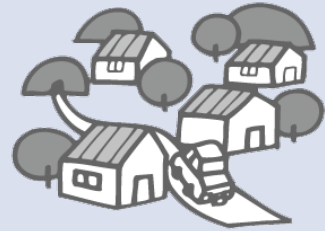
- 断層帯の積極的公表と対策及び断水時の避難所の生活用水の確保策について
- 西国街道の整備について

岸 孝雄議員……P 4

- 地域経済分析システムの有効活用について
- 府道五条本交差点の朝の通勤時間帯の交通安全対策について

渋谷 進議員……P 4

- 一部閉鎖された中央公民館の活動保証を
- 大山崎町体育館大改修計画は見直すべき



※掲載内容は、一般質問をもとに各議員が作成しています。

辻 真理子議員 (所属会派 日本共産党議員団)



1. 子育て応援のまちづくりについて

① 来年度に向けた待機児童対策について。

平成29年度4月開始予定の小規模保育事業は、1歳、2歳児対象の定員18人と聞いている。現在、町内では300戸余りの宅地開発が進んでおり、未就学児童の増加も見込まれる中、待機児童対策としては十分と思えない。

問 実態に即した対策を講じる為、まずは保育希望ニーズの調査をすべきではないか。

答 子育て世帯が町外からの流入か、町内での異動か等実態把握が必要と考えている。

問 いつまでに、どの様に把握するのか。

答 住民票で確認し動向

を探っている。

問 待機児童対策としては、保育士確保もまた不可欠である。臨時職員の正規登用や賃金増の処遇改善が必要と思うが、どのように考えているのか。

答 今年度当初、例年以上に保育士の確保に苦慮した。正規職員をこれ以上増やす事は、町職員全体のバランスと財政負担を考えた時、困難である。

② 保育所施設について

問 保育所の老朽化対策、衛生面での対策・改修の必要性はいかがお考えか。

答 平成21年、22年度に国の交付金を活用し、3つの保育所の改修工事を行った。

衛生面での対策・改修についても、保健所の指導などをもとに必要に応じて実施している。

③ 子育て支援センター

ゆめほっぺについて

問 急な移転に伴い、砂場、プール利用ができない。土曜ほっぺ、みんな

でランチの開催が困難との事だが、代替策は考えているのか。

答 保健センターを拠点として、代替策を検討している。

2. 防災について

問 避難行動要支援者の「個別支援計画」作成について進捗状況はいかがか。

答 現時点では「個別避難計画」の作成にまでは至っていない。関係者が集い情報を共有、協議するとともに、個別の「避難計画」の作成を行い、支援体制を整えていく。

問 福祉避難サポーターの募集、研修の進捗状況はいかがか。

答 京都府などの専門機関からの研修を活用するなど、関係者が学べるよう、取り組む。

その他「まちづくり会議について」質問しました。

山中 一成議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



1. 安心・安全なまちづくりについて

問 避難所環境の向上を図る取り組みについて尋ねる。

答 環境整備として、物資の計画的な備蓄を始め、平成25年の台風18号の教訓も踏まえ、各避難所にテレビを設置し、また両小学校には太陽光パネルの設置、加えて、現在0、無線LAN環境の整備についても、鋭意取り組んでいるところである。

しかしながら、そうした問題に先立つ極めて大きな事象として、今回の熊本地震では、役所庁舎や避難所といった災害拠点施設が破損し、使用不可能となったことは、率直に驚きを隠せないところである。

本町においても、今後

30年以内に70%程度の確立で発生すると言われている「南海トラフ巨大地震」では震度6強が予想され、有馬高槻断層帯地震が発生した場合では、震度7が予想されているところである。

また、その場合の短期避難者の想定人数は、約7千人に達するところである。

そうした状況にあつて、本町の指定避難所の中でも最大の施設として、収容人数1千人を予定する、町体育館の防災拠点としての整備は喫緊の課題である。

もとより、建築後30年が経過する同体育館にあつては、既に雨漏りが生じるなど、速やかに対応すべき動機は存在し、加えて、今後も計画的な老朽修繕や長寿命化は不可欠であり、そこには多額の経費が必要となるが、その負担は全て町の単費

である。

そうした複合的な要因の中、「防災拠点の整備」と「老朽修繕と機能拡張による今後の体育・スポーツ拠点としての確立」という大きな目的を、特定財源を獲得したうえで、効率的・効果的に整備すべく、現在、その計画を進めているところである。

その他に、「本町にお

ける災害発生前後のタイムラインや具体的な行動計画の有無について」、「災害時には一刻も早く正確な情報を町民に伝えることが重要となるが、そのための手段について」、「相互応援協定締結の状況、また、その実効性についての認識を尋ねる。また、地域の人材確保など地域の防災力を高める方策について」、「災害時における地域と行政の役割について」について質問しました。

その負担は全て町の単費

波多野 庇砂議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



1. 断層帯の積極的公表と対策及び断水時の避難所の生活用水の確保策について

問 第二大山崎小学校における久保川水利の利用整備プランについて。

答 地震災害時において、管路の破損等により断水が発生する事は、既にこの間の全国的な事象により明らか。リスクを低減させるべく、水道施設の耐震化を順次進めている。断水時も想定した対応が必要。断水時最優先で確保すべきは、何よりも飲料水・食糧と合わせ、町民一人ひとりが発災後3日分の備蓄、個人備蓄を補充する公的備蓄として、町でも計画的に飲料水や食料備蓄を計画的に進めている。避難所等にお

る生活用水・トイレ用水の確保については、衛生

面にとどまらず、精神的な安定を図るうえで、非常に重要な課題であると認識する。

第二大山崎小学校グラウンド周囲には、久保川から中池への農業用水の引き込みのための水路が設けられている。早期に関係団体と具体的な協議を行う。

問 大山崎小学校・役場・中央公民館における井戸及び手押しポンプの設置について。また大山崎中学校における井戸及び手押しポンプの設置について。

答 現時点で具体的な計画は持ち合わせないが、今後十分研究していきたい。

問 断水時の避難所の生活用水の確保策について、中学校屋上プールの水の年間状況とその利用について、及びトイレ用水としての使用の可否を問

う。

答 災害時における消防水利としての役割を担っており、常に水を貯留している。プールの排水管から採水するための水栓を設置しており、中学校敷地内に整備している「マンホールトイレ」と連携することにより、災害時におけるトイレ機能の確保が可能である。

2. 西国街道の整備について

問 役場北側における西国街道東側の側溝について蓋をすべき整備を求めらる。

答 安全対策を重視した整備を図れるよう道路管理者である京都府と協議している。通学児童等が安心して歩ける歩道として、現状の歩道幅1mから概ね1.5mに拡幅し、道路の側溝については、東西両側について蓋かけをした形で側溝整備をする計画である。

岸 孝雄議員 (所属会派Ⅱ民主フォーラム)



1. 地域経済分析システムの有効活用について

問 政府（内閣官房）との連携による産業構造、人口動態、人の流れ等のデータを有効活用したまちづくりに関して本町における「地域経済分析システム（REASASリーナス）」の活用状況について問う。

答 本年3月に策定した「総合戦略」と「人口ビジョン」の策定に係る検討資料のデータとして活用してきた。
さらに国においてシステムの利用促進とデータ分析力の向上を図る研修会を随時開催されており、本町においてもこれらの研修会に積極的に参加して、データ分析に基づく施策立案や施策評価に努

めたい。

問 「地域経済分析システム（REASAS）」を活用した広域的且つ継続的な観光施策について

答 地域経済分析システム（REASAS）を活用して新たな観光マーケット開拓に向けての市場調査も行い、戦略的な観光振興施策の展開に向けての取組みを進めようとしている。

2. 府道五条本交差点の朝の通勤時間帯の交通安全対策について

問 府道五条本交差点、国道171号線五条本交差点の朝の通勤時間帯の交通渋滞と、これに係る安全対策について、府との連携による対策が必要と考えるが、

答 国道171号から478号へ向かう車両が171号の車線をふさぐことでその機能を著しく低下させており、特に朝の通勤時間帯において交通渋滞が見受けられる。こ

のため、小・中学校児童・生徒の通学時間帯には、ドライバーに対して、通学路啓幕の設置や、通り抜けを抑制する看板を設置している。

さらなる国道五条本交差点の改善が必要であると考え、交通問題の解消と事故防止の観点から国との協議・連携を密にしなから交差点改良事業の進捗の見極めに努めたい。



渋谷 進議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



中央公民館は本町の文化活動・文化見識向上に中核的役割を果たす施設と認識しているか。

問 今回、公民館のホールなどが、突然、閉鎖された。耐震性の問題からやむを得ないとはいえ、今後、本町の文化活動の中核である公民館活動に支障がでる恐れがある。町として、まず町民に十分な説明責任を果たすべきだし、公民館の再開のメドが立っていないもので、公民館活動が停滞・後退しないよう、代替策を取るべきだ。

また、特に、突然に施設が利用できないと言われ、やむなく中止に至った公サ連まつりが来年度の開催に苦慮していると聞か、町として、来年

度から再開できるように特別の支援を行うべきだ。

答 教育長 公民館の役割は認識している。
公民館の一部閉鎖については、一連の手続きを経て人命優先やむを得ない措置だった。公民館サークル連絡協議会の会議に出向き状況報告し、サークルの方々には代替施設の利用を説明し理解・協力を求めた。また、町ホームページに掲載した。公民館活動の継続について、閉鎖で影響を受けたのはホールの利用者として「ゆめほっぺ」で他の部分は開館しているし、ふるさとセンターに振替を行っている。今後、小中学校の体育館を公民館活動に利用できるよう関係規則を変えたいと考えている。

公サ連まつりへの支援については、主催者が開催を断念された事は重く受け止めている。来年の

開催に向けては、町として可能な支援に努めていく。

問 3月議会でも体育館大改修計画の予定が説明された。5億円規模である理由はオリンピック選手誘致の条件整備に必要との事だった。多くの町民から疑問や反対のあるこの計画をそのまま行うのか、見直すべきではないか。

答 教育長 オリンピック選手招致を行う手段として、体育館に国際基準が求められる大会組織委の候補地リストへの掲載よりも、国際基準にとらわれず直接交渉で選手招致をめざす事にした。よって、今回の体育館改修計画は、災害時の避難所施設としての環境整備、施設維持のための工事が本来の目的である。具体的内容は検討中。今年度中に設計委託を、来年度には改修工事を実施したい。

6月町議会

こんなことが 決まりました

平成28年 第2回定例会

平成28年度補正予算などを可決

平成28年第2回定例会は、6月2日から21日の20日間を会期として開きました。今定例会には、12件の議案が提案され、いずれも承認、原案可決、同意されました。結果は6ページをご参照ください。

小規模保育事業整備事業が始まります （平成28年度一般会計補正予算に計上）

本町円明寺地内の「京都がくえん幼稚園」が、既存施設を活用し、来年度より「小規模保育所」を開設されます。

6月議会では、施設改修にあたっての補助金1650万円（国費2/3・町費1/3）が、一般会計補正予算に計上され可決しました。

本町では、今年度当初の入所児童数が近年の入所状況を大きく上回りました。今後も保育ニーズが増加することが予想される中、新たな保育施設がスタートすることに、議会としても期待し注目をしています。

（小規模保育所って？）

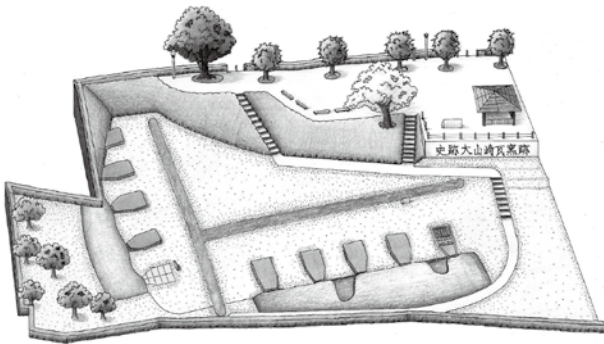
市町村による認可事業で、0～2歳の乳児を対象として、定員6人以上19人以下の少人数で行う保育。報告によれば、がくえん幼稚園では、1・2歳の乳児を18人まで受け入れる予定です。



史跡大山崎瓦窯跡の整備事業について

建設上下水道文教厚生常任委員会において、史跡大山崎瓦窯跡の整備事業の進捗について、教育委員会生涯学習課から報告を受けました。

本事業は、「歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業」として国の補助金を得て実施しているものです。これまで、不要な土砂の除去を行い、発掘調査を実施して、遺跡の全体把握に取り組み、全体の地形復元のデータが得られたことから、平成28年度は、地盤造成工事を行い、その後、補足的な発掘調査を行う予定とのことです。今後は、整備の基本計画に基づいて、休養施設や遺構の表示等のあり方について、検討を加え、整備の具体的な設計が行われることから、引き続き注視していきます。



完成予想図…今後の発掘調査成果の検討によって、内容が変わります。

人事

次の人事について、町長提案に同意しました。

公平委員会委員に

神谷 洋一郎 氏
荻野 和雄 氏
平井 澄男 氏

人権擁護委員に

上田 直弘 氏
人権擁護委員については、法務大臣が委嘱するため、適任と認め推薦に同意しました。

議案に対する各議員の表決結果をお知らせします！

【賛成：○ 反対：×】(議席順に掲載)

第2回 定例会

賛否が分かれた議案等

議案番号 ※	議案名	議決結果	西田 光宏	森田 俊尚	山中 一成	高木 功	岸 孝雄	前川 光	辻 真理子	朝子 直美	渋谷 進	小泉 満	波多野 庇砂	北村 吉史
35	専決処分の承認を求めることについて(大山崎町国民健康保険税条例の一部改正について)	承認	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長のため採決には加わらない
39	大山崎町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
請願1	建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	退席	×	○	○	○	○	○	×
請願2	国に「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書の提出を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	議長のため採決には加わらない
意見書5	建設従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書案	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	
意見書6	「平和安全保障関連法」の廃止を求める意見書案	否決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	×	

請願1(請願第1号)については可否同数となったため、議長裁決により不採択となりました。

全員が賛成であった議案等

議案番号	議案名	議決結果
34	専決処分の承認を求めることについて(大山崎町税条例等の一部改正について)	承認
36	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度大山崎町一般会計補正予算(第7号))	承認
37	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度大山崎町下水道事業特別会計補正予算(第3号))	承認
38	大山崎町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部改正について	原案可決
40	平成28年度大山崎町一般会計補正予算(第2号)	原案可決
41	円明寺線第48号下部工他新設工事変更請負契約について	原案可決
42	大山崎町公平委員会委員の選任について	同意
43	大山崎町公平委員会委員の選任について	同意
44	大山崎町公平委員会委員の選任について	同意
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について	適任と認め同意

※議案番号は第1回定例会(3月議会)からの通し番号です。

ホストタウン 構想について

2020年東京オリンピック・パラリンピックにおける事前合宿の誘致や参加国・地域との交流事業などを担う自治体を「ホストタウン」として登録し、地方創生の推進を目指す政府の取り組みです。

1998年の長野オリンピックで地元の小中学校がそれぞれ参加国・地域を応援した「一校一国運動」をモデルにしたもので、登録自治体は一部費用について政府から財政支援を受けます。

2015年11月に登録を希望する自治体の申請受付が開始され、16年1月、第1次登録となる25都道府県の44件が決定されています。本町は、6月の第2次登録において、スイスのフェンシングを通じて計画を申請し、決定されました。



特集

職員に聞く 熊本地震被災地を 訪れて

町議会では、日頃から、防災について、様々な観点から議論をおこなっています。このたび、4月に発生した熊本地震で被災した自治体へ、本町の職員が派遣されたとの報告を受け、お話を聞きました。

Q いつからいつまで、どこで、どのような支援をおこなってこられたのですか？

A 5月30日～6月12日、防災担当者、建築士資格を持つ職員の2名が、益城町の南隣に位置する御船町へ出向き、罹災証明の発行手続きなど、「生活再建」にむけた業務にかかりました。

Q 現地を訪れて、最も印象的だったのはどんなことですか？

A 多くの方が「まさか自分の町がこんなことになるとは思わなかった。」と言っておられたことです。

Q 本町の防災行政に関して今後強化すべきと感じたことは何ですか？

A 建築士の立場からは、増改築をされる際には耐震性を十分考慮して欲しいと感じたので、そのようなことも伝えていきたいと思えます。

A 災害対応のマニュアルなどをこまめに見直すこと、避難所環境などハード整備を実施すること、日頃の備えの重要性について啓発の方法を工夫すること、避難訓練の充実することなど、ひとつひとつの課題に着実に取り組むことです。



広報編集班の委員に報告する政策総務課、及び建設課職員

町議会議員は、町議会以外の広域行政（京都府下）の議会などでも活動しています。第75号に掲載した一部事務組合以外について紹介致します。

連合名	設立年月及び目的	構成（内容）	議会
京都地方税機構	平成21年8月 税務業務の効率化、簡素化を目的とし、府税、市町村税の滞納整理と徴収。	京都府および京都市を除く京都府下25市町村で構成	員数 32名 定例会 年2回(2,8月) 構成 京都府議会6名、宇治市議会2名、その他市町村各1名
京都府後期高齢者医療広域連合	平成19年2月 平成20年4月から「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、75歳以上の高齢者の方と65歳以上の寝たきりなど一定の障害のある方を被保険者とする新たな後期高齢者医療制度が創設され、その運営は、都道府県ごとに府内すべての市町村が加入する広域連合が行うこととされました。	府内全市町村で構成され、主な業務は被保険者の資格管理、保険証の発行、保険料の決定、医療の給付、保健事業等を行う。	員数 30名 定例会 年2回(2,8月) 構成 京都市議会4名、宇治市議会2名、当該市町村各1名
広域連合	地方自治法に基づき普通地方公共団体及び特別区が設けることができる特別地方公共団体の一つで、広域連合は、広域計画を作成し、広域に処理することが適当であると認められる事務及びこれに関連して国や都道府県から委任された事務について総合的かつ計画的に処理することができます。		

●閉会中の委員会開催など

★議会運営委員会

7月21日(木)

第3回定例会の日程について

8月22日(月)

第3回定例会予定付議事件説明
本会議の運営について

★広報常任委員会

7月22日(金)

(広報編集班)

7月1日(金)

7月19日(火)

「議会だより第77号作成」

●視察・研修

★京都府町村議会議員研修会

7月22日(金)

テーマ

①参院選後の安倍政権の戦略
と課題

②真の地方創生実現に向けた
地方議会の使命

講師

①政治ジャーナリスト

泉 宏 氏

②東京大学大学院教授

金井 利之 氏

会場

ルビノ京都堀川

★総務産業常任委員会視察

7月25日(月)

視察テーマ

防災対策について

視察先

兵庫県佐用町



7月26日(火)

視察テーマ

地方創生に対する取組みについて

視察先

鳥取県智頭町



皆様の傍聴を

歓迎します!!

―9月議会の日程をお知らせします。
ぜひ、傍聴にお越しください―

第3回定例会(9月議会)の日程

(予定)

8月29日(月) 本会議(開会)

9月1日(木) 議会改革特別委員会

5日(月) 本会議(一般質問)

6日(火) 本会議(一般質問)

7日(水) 総務産業常任委員会

8日(木) 建設上下水道文教

厚生常任委員会

12日(月) 予算決算常任委員会

13日(火) 予算決算常任委員会

14日(水) 予算決算常任委員会

15日(木) 予算決算常任委員会

16日(金) 予算決算常任委員会

20日(火) 広報常任委員会

23日(金) 本会議(最終日・採決)

※本会議及び予算決算常任委員会は
午前10時開会予定。

ただし、15日の予算決算常任委員
会は午後1時30分開会予定。

その他の委員会は、午後1時30分
開会の予定です。

編集後記



議会基本条例に則り、「広報常
任委員会」が設置され2年が経と
うとしています。

公平性を担保することに苦慮し
つつ、議会での議論を、リアルに、
わかりやすく、お伝えしようと取
り組んできました。

今後も、よりよい紙面となるよ
う、努力して参ります。みなさま
からの忌憚のないご意見、ご感想
をぜひお寄せ下さい。

(朝子直美)

ご意見・ご感想は議会事務局まで
〒618-8501

大山崎町円明寺夏目3

大山崎町議会事務局 あて

FAX(075)95316020

広報常任委員会

朝子 直美 委員長

森田 俊尚 副委員長

高木 功 委員

岸 孝雄 委員

前川 光 委員

小泉 満 委員

波多野庇砂 委員